

令和4年度事業計画

I. 国立歴史民俗博物館の事業への援助・支援（定款第4条）

1. 調査研究活動等の援助

公益目的事業としての学術・教育研究の奨励を目的とした調査研究活動経費の援助（寄付）

2. 広報普及活動の支援

(1) 友の会会員が中心に行っている「寺子屋」でのボランティア活動の支援

(2) 友の会が行う歴博主催の「歴博映画の会」開催への協力として、広報物（チラシ）の作成及び配布

II. 歴史民俗関係の図書等の出版（定款第4条）

1. 歴博展示図録の発行・頒布

(1) 企画展示「伽耶ー古代東アジアを生きた、ある王国の歴史ー」

（会期：10月4日から12月11日）

(2) 企画展示「集める・写す・伝える - 蒐集と好古の文化史ー」

（会期：3月7日から5月7日）

2. 国立歴史民俗博物館の研究成果をまとめた『研究報告書』の発行・頒布

235集～240集（共同研究特集号6本と通常号1本）

3. 市民向けの小冊子『歴博ブックレット』の新刊発行

III. ミュージアムショップの事業（定款第4条）

1. 展示のテーマに合わせて品揃えした書籍など商品の仕入・販売

2. 教材等の開発・頒布

3. 全国の歴史系博物館図録の相互委託販売

博物館の相互の振興と発展のための展示図録等の相互販売

4. オンラインショップの運営

IV. 友の会事業の実施（定款第4条）

1. 「友の会ニュース」の編集・発行・配布（年6回・隔月）
2. 維持会員、普通会員へ会員特典として『REKIHAKU』を配布（年3回）
3. 維持会員へ企画展示図録を配布
4. 「友の会行事カレンダー」の編集・発行・配布（年1回）
5. 歴博の教員を講師に迎え、友の会講座を開催（月1回）
※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、対面、オンラインにて開催する
 - (1) 歴史学講座
 - (2) 情報資料学講座
 - (3) 考古学講座
 - (4) 民俗学講座
6. 歴博の教員を講師に迎え、古文書講座を開催
※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、対面、オンラインにて開催する
7. 友の会会員への講演会
※過去2年、新型コロナウイルス感染拡大により開催しなかったが、状況に応じて対面もしくはオンラインにて開催する
館長特別講演会 年1回
8. 見学会（会員が会員のために行う見学会）
 - (1) 6月 成田 義民ロードと麻賀多神社
 - (2) 9月 八千代 八千代市の遺跡と寺社を巡る
 - (3) 11月 谷中・日暮里 雪月花。日暮しの里・谷中を歩く
 - (4) 1月 築地・新橋 幕末・明治の遺産 新橋～汐留を歩く
 - (5) 3月 行徳 江戸の塩田行徳を歩く
9. 自主学習会
 - (1) 古文書学習会
歴博所蔵の文書を、会員同士で読み解き、時代背景を考え輪番制で発表する。
 - (2) 近現代史読書会
輪番でテキストの要約・補足説明をする。日本のみならず、中国の近現代史に

も取り組む。

(3) 近世史読書会

近世史を扱うテキストをもとに、会員が輪番で要約・発表を行う。

(4) 古代の東国探訪学習会

古代の東国の枠に縛られず、自由に考古・歴史の学習結果・自説を持ち寄って発表・討論をする。

(5) 旅と街道学習会

街道の歴史や役割、地理、民俗などについて資料収集や現地を訪ね、調査・発表をする。

(6) 日本の民俗を訪ねる学習会

輪番制による自由なテーマで学習結果を発表・討論する。

(7) 総合展示物学習会

歴博の展示場から、関連資料を読み解き情報交換をしながら日本の歴史を学習する。

(8) 先史・古代学習会

旧石器～平安時代について、輪番制で各自が学習した内容を発表し、意見交換をする。

(9) 日本の中世を探究する学習会

室町時代を学習。テキストの要約・発表を行い、意見交換をする。

10. 観桜茶会 → 取り止め（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

佐倉市茶の湯の会との共催。

11. 新会員向けオリエンテーションを年3回実施

友の会運営委員総務部会による新会員への説明会。友の会の行事や学習会について説明をし、質問を受け付け、友の会への参加意欲を高める。

12. 友の会会員限定のギャラリートークを開催

企画展示、特集展示の展示代表の先生による会員限定の展示説明会

※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、対面、オンラインにて開催する。